

宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議  
(令和7年度第1回) 議事概要

【日 時】 令和7年8月22日(金) 19:00～20:00

【開催方法】 オンライン開催

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 地域医療構想の進捗状況の検証を行い、医療機関対応方針の取組の実施状況等について確認した。
- のむら大腸肛門クリニック(※)、宇部中央病院(※)、山口大学医学部附属病院(※)、小野田赤十字病院及び美祢市立病院の病床数適正化支援事業に係る病床削減について説明を行い、新興感染症に係る協定による病床の確保等、地域の医療提供体制に問題がないことを確認した。  
※を付した医療機関については、地域医療構想の達成に向けた対応方針の変更についても説明を行い、合意した。
- 美祢市立美東病院の対応方針の変更について協議を行い、合意した。
- モデル推進区域に係る今後の取組の方向性について、回復期・慢性期病院や診療所も含めた救急医療体制の見直しを進めることについて協議し、合意した。

- 1 令和7年度地域医療構想調整会議の進め方について
- 2 令和6年度病床機能報告結果について
- 3 地域医療構想の進捗状況の検証について

県医療政策課から、今年度の地域医療構想調整会議の予定、新たな地域医療構想の国の検討状況、地域医療介護総合確保基金の期間延長等について、説明を行った。

また、令和6年度病床機能報告結果について説明を行った上で、地域医療構想の進捗状況を検証するとともに、医療機関対応方針の取組の実施状況等について確認を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

- 4 病床数適正化支援事業について

各医療機関等から、病床数適正化支援事業に係る病床削減について説明を行

った。

のむら大腸肛門クリニック、宇部中央病院及び山口大学医学部附属病院については、これに加え、対応方針（2025 プラン）の変更について説明を行った。

のむら大腸肛門クリニックの病床削減については、入院患者の減少といった医療需要の変化に対応するため急性期病床 9 床を削減すること及び新興感染症に係る協定による確保病床が無いことが説明された。

宇部中央病院の病床削減については、効率的な病床運営を行うため、急性期病床を 10 床削減すること、削減対象の病床は新興感染症に係る協定による確保病床ではないこと及び削減後の病床に人的資源を再配置することで、従来通り高度急性期、救急医療などを継続的に提供できることが説明された。

山口大学医学部附属病院の病床削減については、限られた人的資源で業務効率化を図るため急性期病床 1 床を削減すること、削減対象の病床は新興感染症に係る協定による確保病床ではないこと及び同削減病床は休床状態であり入院医療の継続に支障が無いことが説明された。

小野田赤十字病院の病床削減については、医療資源の最大限の活用や急性期病院からの受け皿として必要な手厚いケア部門の充足のため、慢性期病床 46 床削減したこと、削減対象の病床は新興感染症に係る協定による確保病床ではないこと及び削減した療養病床の機能が介護医療院により担われることが説明された。

美祢市立病院の病床削減については、病床の効率的運用及び人員配置の適正化のため、急性期病床 6 床を削減したこと、削減対象の病床は新興感染症に係る協定による確保病床ではないこと及び医療資源の集約と回復期病床に注力していくことが地域医療構想の実現に資することが説明された。

協議の結果、これらの医療機関の病床削減について新興感染症に係る協定による病床の確保等、地域の医療提供体制に問題がないことを確認した。

のむら大腸肛門クリニック、宇部中央病院及び山口大学医学部附属病院については、これに加え、対応方針の変更について合意した。

（主な意見・質問等）

特に意見、質問等はなし。

## 5 2025 プランの変更について

美祢市立美東病院から、対応方針の変更について説明を行った。

美祢市立美東病院については、医師・看護師等の医療資源を最大限効率的に活用し、持続可能な地域医療提供体制を確保するため、急性期病床から回復期病床への転換を行うことが説明された。

協議の結果、美祢市立美東病院の対応方針の変更について合意した。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

## 6 かかりつけ医機能報告制度

県医療政策課から、かかりつけ医機能報告制度について説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

## 7 モデル推進区域に係る取組みについて

県医療政策課から、区域対応方針における令和7年度の到達目標及び救急医療体制検討部会での協議の概要を報告し、同検討部会で示された今後の取組の方向性について説明した。

また、同検討部会での議論を踏まえ、県から、回復期・慢性期病院や診療所を含めた救急医療体制の見直しについて、地域の医療関係者への協力依頼や、今年度中に2025プランの検証・見直しを行うことについて説明し、合意した。

(主な意見・質問等)

○ 下り搬送だけでなく、上り搬送についても、大学病院を含めた地域の医療資源を最大限活用した体制が整備されるよう検討が必要ではないか。

⇒ 今後、宇部市から、意見照会・集約がなされる予定であり、関係機関と随時情報共有を図りながら、救急医療体制の充実に向けた議論を進めていくこととしている。

○ 急性期の会議では、慢性期病院が参加しないため、慢性期病院の意見を発出する場がない。宇部市や郡市医師会が意見を取りまとめるのか。

⇒ 輪番体制に含まれていない病院に対し、9月に意向調査を実施することとしており、その結果を踏まえて「基本手順書」を策定し、地域の会議等で検討を行うこととしている旨、宇部市より説明があった。

## 8 山口県外来医療計画に係る報告について

宇部健康福祉センターから、山口県外来医療計画に基づき提出された「外来医療機能報告」及び「医療機器の共同利用計画」について報告を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はない。